

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 100-6738
 住 所 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
 氏 名 日本ビルファンド投資法人
 執行役員 影山 美樹 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	日本ビルファンド投資法人		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市幸区鹿島田1-1-2		
該当する事業者 の要	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	K	不動産業, 物品賃貸業
	中分類	69	不動産賃貸業・管理業
主たる事業 の内容	不動産賃貸業		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量		5,577 k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	株式会社NBFオフィスマネジメント 運営管理部
		所在地	東京都中央区中央区銀座6-17-1
		電話番号	03-3246-3513
		FAX番号	03-3270-0585
		メールアドレス	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成26年度 ～ 平成28年度 (報告年度 27年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	当社の地球温暖化対策の取組については、ホームページにて公表しています。 http://www.nbf-m.com/nbf/profile/sustainability/

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 12,007 t-CO ₂ (調) 9,572 t-CO ₂	(実) 11,491 t-CO ₂ (調) 9,162 t-CO ₂	(実) 11,619 t-CO ₂ (調) 9,239 t-CO ₂	(実) t-CO ₂ (調) t-CO ₂	(実) 11,647 t-CO ₂ (調) t-CO ₂
削減率		(実) 4.3 % (調) 4.3 %	(実) 3.2 % (調) 3.5 %	(実) % (調) %	(実) 3.0 % (調) %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の 活動量	延床面積		単位	t-CO ₂ /m ²	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量 原単位等の値	0.08670	0.08298	0.08390		0.08410
削減率		4.3 %	3.2 %	%	3.0 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	熱源運転の見直し、不要な照明の消灯等により、実排出量を4.3%削減することができた。
第2年度	前年度と同様の対応により、実排出量を3.2%削減できた。
第3年度	

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	<ul style="list-style-type: none"> ○エネルギー使用量等の把握、計測、記録等の管理 ○新設、更新等における措置 ○照明設備の運用管理
	第1年度	<ul style="list-style-type: none"> ○エネルギー使用量等の把握、計測、記録等の管理 分析結果に基づいて、熱源運転の改善を行った。 ○新設、更新等における措置 一部の共用部照明をLED照明に交換した。 給排気ファンインバータを高効率のものに更新した。 冷却塔外装を交換し熱源効率が向上した。 ○照明設備の運用管理 不要な照明の消灯、タイムスケジュール制御を行った。
	第2年度	<ul style="list-style-type: none"> ○エネルギー使用量の把握、計測、記録の管理 分析結果に基づいて、熱源の改善を行った。CO2測定校正を行い、不要な外気を抑制することによりエネルギーロスを改善した。 ○新設、更新等における措置 冷水・冷却水自動エア抜き弁設置工事を実施、冷水・冷却水配管内のエア混入による、冷水流量阻害を解消し、エネルギー使用量を抑制した。
	第3年度	
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	特になし。
第1年度	特になし。
第2年度	特になし。
第3年度	

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	事業所内省エネ施策取組状況の共用部への掲示を通じた啓発活動。
第1年度	計画内容（省エネ施策取組状況の共用部への掲示を通じた啓発活動）実施の他、契約電力見直しにより、使用電力削減効果があった。
第2年度	契約電力を下方修正し、デマンド管理により、電力使用量を削減できた。
第3年度	

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	11,219	t-CO ₂
(調)	11,039	

イ 第3号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等単位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500k1 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
新川崎三井ビルディング	幸区鹿島田1-1-2	6911	不動産賃貸業	11,219 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k1 以上 1,500k1 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k1 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400~500k1 未満	
300~400k1 未満	
200~300k1 未満	
100~200k1 未満	
100k1 未満	

(3) 事業所等単位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--